



博多区のまちづくり

まちづくりの方向性

- 博多駅周辺では、国際的な広域業務の中心として、高度な都市機能の誘導や歩行者ネットワークの拡大、歴史ある博多旧市街との回遊性向上などにより、博多駅の活力と賑わいが周辺につながるまちづくりを進めます。また、ウォーターフロント地区(中央ふ頭・博多ふ頭)では、MICE機能や国際・国内旅客ターミナル機能、都心部の貴重な海辺空間を生かした賑わいや憩いなどにより、市民や国内外からの来街者が集い交流する海に開かれたまちづくりを進めます。
- 雑餉隈では、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積を生かした拠点の形成を図ります。
- 博多港・福岡空港・博多駅では、広域交通拠点の機能強化を図るとともに、多くの人や物が集中し交流する都心部を支える交通環境づくりに取り組みます。また、地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組みます。
- 都心部では、水辺や通り、広場などのオープンスペースを活用し、花や緑、文化芸術、歴史などにより、彩りと潤い、賑わいがある魅力的なまちづくりを進めます。
- 博多部では、神社仏閣等を生かした歴史的な街並みの形成などに取り組みます。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 警固断層周辺では、中高層建築物の耐震強化を促進するとともに、那珂川や御笠川などにおいて浸水対策を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。



福岡空港



東長寺

将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
都心核 	(博多駅周辺) 広域交通の拠点である博多駅の利便性を生かした国際的な広域業務の中心として、業務とともに商業などの都市機能が集積し、博多駅の活力と賑わいが周辺につながる地区	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高度な都市機能の誘導 ○ 利便性の高い立体的な歩行者ネットワークの充実・強化 ○ 広域交通拠点等における交通機能の強化 ○ 福岡の顔にふさわしい景観・みどりの創出とオープンスペースを活用した魅力づくり ○ 多様な主体との連携による賑わいの創出
	(中央ふ頭・博多ふ頭) MICE機能や国際・国内旅客ターミナル機能等が集積し、市民や国内外からの来街者が集い交流する海に開かれた地区	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海辺を生かした賑わいと憩いの創出 ○ 質の高いMICE の受入環境の形成 ○ クルーズ船等の受入環境の充実 ○ 広域交通拠点等における交通機能の強化
都心拠点 	(博多部) 神社仏閣などの歴史資源や伝統的な祭りなどの文化を生かした博多の歴史・文化を伝承する拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史・文化を生かした観光・交流の推進、街並み景観の向上 ○ 商業・業務機能の誘導 ○ 魅力ある歩行者空間の確保 ○ 周辺地区との連携強化
	(中洲川端) 多彩な娯楽・飲食の魅力など、文化機能と飲食街の集積を生かしたゆとりと賑わいのある拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商業・業務機能の誘導と魅力ある商業空間の形成 ○ 水辺を生かしたまちづくり ○ 周辺地区との連携強化
地域拠点 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(雑餉隈) <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道駅を中心とした一体的なまちづくりや回遊性の向上 ○ 高架下の活用による既存のまちと一体となった賑わいの創出 ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 交通結節機能の充実・強化
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 安全・安心な交通環境づくり

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
空港周辺ゾーン 	空港関連の商業施設・業務施設が集積する空の玄関口	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡市の空の玄関口としての景観づくり ○ 広域交通拠点等における交通機能の強化 ○ 緑化の推進
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沿道の有効利用 ○ 後背地などの周辺環境への配慮 ○ 交通ネットワークの充実・強化 ○ 連続性のある良好な街並みの形成
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	

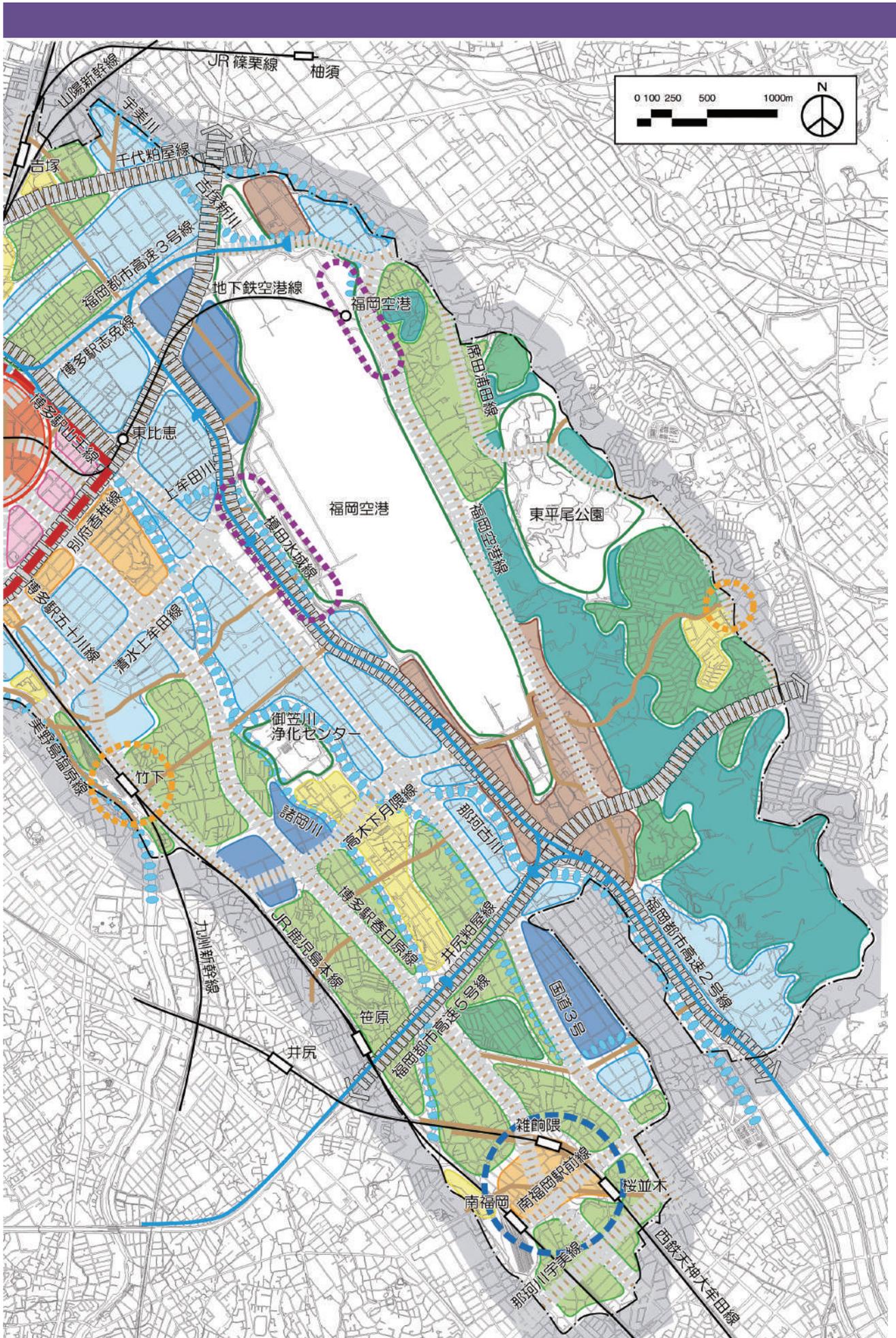
<環境資源などを保全・活用するエリア>

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
歴史景観 拠点ゾーン 	神社仏閣や町家などの歴史資源を生かした景観が保全・形成されている櫛田神社、聖福寺、住吉神社及びその周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史資源を生かした街並みの形成 ○ 緑の保全 ○ 緑豊かで魅力的な景観の形成 ○ 魅力ある歩行空間の確保
みどりの輪・ みどりの帯 (森の緑地環・ 緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる森林、丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東平尾公園の機能の充実・強化 ○ 生物多様性の保全・回復・創出
河川緑地軸 	御笠川など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、市民の散策・憩いの場となる水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成 ○ 親水性の向上 ○ 生物多様性の保全・回復・創出 ○ 安全で快適な都市基盤の整備
博多湾水際帯	連続する緑地と水際空間を形成するとともに、市民の憩いの場となる海辺空間	<ul style="list-style-type: none"> ○ みどりの連続性の確保 ○ 生物多様性の保全・回復・創出

※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」、「博多湾水際帯」の位置・範囲は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

<土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
都心核周辺ゾーン 	都心核周辺の商業・業務施設と中高層住宅が立地するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高い指定容積率の有効活用 ○ 緑化の推進 ○ 都心核・都心拠点との連携
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な居住環境の形成 ○ 居住環境と調和した商業・業務機能の誘導 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中高層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低中層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低層住宅ゾーン 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
住工複合ゾーン 	工場や倉庫、事務所などの工業系の施設と住宅が立地するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅の多い地区での良好な市街地環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 敷地内緑化などによる緩衝機能の確保
流通・工業ゾーン 	工場や倉庫、事務所などの工業系の施設が集積するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流通・工業機能の維持・向上 ○ 住宅の無秩序な立地の抑制 ○ 車両の円滑な交通処理
港湾機能ゾーン 	国内外を結ぶ海上アクセスが集積するみなと	<ul style="list-style-type: none"> ○ クルーズ船等の受入環境の充実 ○ カーボンニュートラルポートの形成 ○ 人流機能と物流機能の調和
移転跡地等ゾーン (空港周辺) 	緩衝緑地などの空港周辺の移転補償跡地と一部民有地が混在するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 騒音による影響が比較的少ない商業・業務、流通工業施設やスポーツ・レクリエーション施設などの適正誘導
山地・丘陵地 	市民のスポーツとレクリエーションの場となる東平尾公園などの丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林などの保全・活用と管理活動の充実 ○ 無秩序な開発の抑制



1 都市計画マスタープランの位置づけと役割

2 都市の現状と都市づくりの課題

3 全体構想

4 区別構想 (博多区)

現況と課題

[凡 例]

	都市計画道路等 (整備済・概成)		文化財・寺社
	都市計画道路等 (未整備・整備中)		バスターミナル
	自動車専用道路 (整備済・概成)		標高80m以上
	自動車専用道路 (未整備・整備中)		市街化区域 および市街化調整区域界
	地下鉄		区界
	鉄道		主な公園・緑地
	航路		主な公共施設
	大学		

- 九州の交通結節拠点である博多駅周辺地区では、耐震性が高い先進的なビルへの建替えに加えて、博多駅筑紫口駅前広場やはかた駅前通りの再整備、地下鉄七隈線延伸開業などにより、回遊性が向上しています。
- 事業所が7区中最も多く集積しており、博多駅の周辺や中南部地域の大型複合商業施設、ウォーターフロント地区のコンベンション施設、東平尾公園のスポーツ施設など、多くの集客交流施設が立地しています。
- 桜並木駅の開業や、福岡空港の滑走路増設をはじめとした機能強化を契機として、住民主体のまちづくりの取り組みが進められています。
- 単身世帯は全世帯の6割を超え7区最多で、転入者も多く、約9割の世帯が共同住宅に住むなどの都市型特性があります。都市部では、地域包括ケアシステム*1の構築などが求められており、また、安心して子育てができる環境づくりを進める必要があります。
- 櫛田神社や住吉神社、東長寺、聖福寺、承天寺などの神社仏閣や歴史的文化財が多く、ウエルカムゲート「博多千年門」が新たなシンボルとなっています。
- 板付遺跡や金隈遺跡などの史跡も豊富であり、博多祇園山笠や博多松囃子などの伝統的な祭りや文化も豊かで、地域の生活にとけ込み受け継がれています。
- 陸、海、空の玄関口である博多駅、博多港、福岡空港を有し、国内外からの来街者が多く、さらなる集客・賑わい創出を図るため、歴史や伝統をはじめ、新たなまちの魅力づくりや発信、集客機能の強化などによる回遊性の向上を図っていく必要があります。



*1 地域包括ケアシステム：高齢になっても誰もが個人として尊重され、人生の最期まで、住み慣れた地域で自立した生活を安心して送ることができるよう、保健(予防)・医療・介護・生活支援・住まいの5つのサービスが一体的に提供される仕組み。

